



公立大学法人富山県立大学

News Release

地域協働支援室

担当：神村（地域協働コーディネーター）

電話：0766-56-7500（内線1632）

kyodo@pu-toyama.ac.jp

令和8年3月27日

ため池改修に伴う生物多様性の喪失を防ぐ保全活動の実施 (地域協働取組)

本学では、地域の様々な課題を解決すべく、教員による各種調査・研究活動を支援する取組みがあります。これまで本県の生物多様性保全に資する調査研究の一環として、富山県高岡農林振興センターと本学教職員・学生、地域の関係者が協働し、氷見市にある大浦大池ため池改修工事に伴う生物多様性保全活動（アサザ・ガガブタの生息域内保全）を行ってきました。この度、工事の完了に伴い生息域内保全を終了させるための作業を実施します。

1 概要

氷見市大浦大池（農業用ため池）には古くから希少な水生植物のアサザおよびガガブタ（ともに富山県絶滅危惧Ⅰ類）が生育しています。2024年からため池の堤体改修工事が始まり、工事期間中（2年間）は池の水を抜くため水生植物であるアサザ・ガガブタが乾燥により消滅する懸念がありました。そこで、2024年3月にため池内の工事区域外に止水板を設置して人工的に湿地環境を作り出し、工事期間中もアサザ・ガガブタが生育できるようにしました（生息域内保全）。

この度、堤体改修工事が完了し、今春から再びため池内に水を貯めることとなったので、アサザ・ガガブタの生息域内保全を終了することとなりました。そこで、2年前に設置した止水板等の撤去を地域の関係者と協働して実施します。

2 日時 令和8年3月30日（月）10時～13時ごろ（予定）

3 場所 氷見市大浦大池（氷見市堀田）

4 参加者 本学学生および教職員、氷見高校生、高岡農林振興センター
NACS-J とやま、立山自然保護ネットワーク
合計約25名

5 その他

- 作業内容やアサザ・ガガブタに関する問い合わせ：
教養教育センター 鈴木浩司 准教授
suzuki-azuma@pu-toyama.ac.jp（内線1940）